

開館 1 周年記念 岸田吟香没後 120 年 「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」 開催結果について

【総括】

- ・開館 1 周年記念展として、豊田市に所縁の岸田吟香と、その子・岸田劉生の芸術活動を通し、日本における近代化が「西洋化」と同義ではなく、特に芸術面では「東洋」を見つめ直すことで進められたことを明らかにし、日本の近代史への視座の再考を提起した。
- ・吟香は、これまで明治初期の実業家・ジャーナリストとして紹介されることがほとんどであったが、本展では文人・書家としての活動に焦点を当てた。吟香が同時代の中国（清）で流行していた徐三庚らの最先端の書風を日本にもたらし、当時の日本を代表する書家であった日下部鳴鶴らに影響を与え、日本の書の近代化に大きく寄与したことを明らかにした。
- ・劉生について、油彩画の画風の変化を代表作から示すとともに、「麗子像」4 点から、画風の変化に中国の宋・元時代の絵画の影響があったことを示した。また、劉生の日本画を積極的にとりあげ、画のみならず自賛を読み解くとともに、画風と書風の変化を明らかにした。
- ・劉生の画業の展開を論じる際、吟香から受け継いだものへの着目はこれまでもなされたが、両者に共通する文人精神から父子の芸術の関係性を指摘したのは、本展が初めてであった。
- ・展覧会の内容は、美術専門誌（『美術の窓』2025 年 12 月号、生活の友社）の展評「特別座談会 2025 年の展覧会を振り返る！」で高く評価された。
- ・観覧者数は 15,153 人（内覧会 134 人を除く）。会期通期の観覧者数の平均値は 329.4 人／日。
- ・観覧者の 47.3%が、コレクション展示「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」（5 月 31 日～6 月 15 日：14 日間開館）の開催期間に集中した。観覧者の増加について、同展示との相乗効果が顕著に認められた。
- ・観覧者の年齢層は 10～20 代が約 25%、30～50 代が約 25%、60 代以上が約 50%で、比較的高齢の観覧者が半数であったが、小中学生をはじめとした若年層にも観覧いただけた。

- ◆会 期 2025 年 4 月 26 日（土）～ 6 月 15 日（日） 46 日間
- ◆会 場 豊田市博物館 展示室 1
- ◆観覧料金 当日券：一般：1,000 円、高校・大学生：800 円、中学生以下：無料
 ※前売り及び 20 名以上の団体は 200 円割引
- ◆主 催 豊田市博物館
- ◆共 催 中日新聞社

■観覧者数 **15,153 人（1 日あたり 329.4 人／有料率 40.4%）** ※目標 20,000 人

■図録販売 **222 冊**（購入率：1.5%）
 価格 1,500 円（税込）
 デザイン：AIRS、印刷：株式会社エムアイシーグループ
 仕様：A4 変形サイズ、128 ページ

関連事業

【講演会】

■「岸田劉生の文人趣味」

日時：2025年4月26日（土）午後2時～午後3時30分

講師：梶岡秀一氏（京都国立近代美術館学芸課長）

会場：豊田市博物館 セミナールーム（要事前申込）

参加者：66人（定員100人）

料金：無料

■「岸田吟香に宛てた日下部鳴鶴の手紙と幕末の三筆の書」

日時：2025年5月25日（日）午後2時～午後3時30分

講師：増田孝氏（愛知東邦大学客員教授、テレビ東京《開運！なんでも鑑定団》鑑定士）

会場：豊田市博物館 セミナールーム（要事前申込）

参加者：89人（定員100人）

料金：無料

【ギャラリートーク】

■第1回

日時：2025年5月10日（土）午後2時～午後3時30分

登壇者：安藤豊邨氏（全日本書道連盟評議員、日本刻字協会理事長、豊田書道連盟相談役）、
本展担当学芸員

会場：豊田市博物館 セミナールーム（事前申込不要）

参加者：81人（定員100人）

料金：無料（ただし企画展観覧券が必要）

■第2回

日時：2025年6月13日（金）午後1時30分～午後2時15分

案内：本展担当学芸員

会場：豊田市博物館 展示室1（事前申込不要）

参加者：35人

料金：無料（ただし企画展観覧券が必要）

■広報事業実績

- ・有料広告については、新聞広告、駅広告（豊田市駅ジャック1週間を含む）、インターネット広告を行った。アンケート結果から、新聞・雑誌を見ての来館が27%であった。
- ・インターネット広告については、会期前に「Yahoo!広告 ディスプレイ広告」を行った（2025年3月3日～27日）。表示回数は3,467,887回、クリック数は28,807回であった。デバイス比率は95%がスマートフォンであった。
- ・Instagram上で頻繁な投稿を行い（期間中66回投稿）、SNSに親しんでいる世代へのアプローチを試みた。SNSの閲覧をきっかけとした来館は5%にとどまった。
- ・博物館HPを見ての来館が23%。HPでは引き続き時宜を得た更新・発信を続ける。
- ・「その他31%」のうち、判明するものはチラシ、口コミであった。

1	WEB	じゃらんイベントガイド	開館1周年記念 岸田吟香没後120年「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」について	2025	2/14	株式会社リクルート
2	WEB	TOKYO ART BEAT	「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」	2025	2/16	株式会社アートビート
3	WEB	ファッションプレス	企画展「岸田吟香と岸田劉生」豊田市博物館で一美の理想としての“東洋”「麗子像」など代表作が一堂に	2025	2/16	株式会社カーリン
4	WEB	ツーリズムとよた	豊田市博物館開館1周年記念「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」	2025	2/16	ツーリズムとよた
5	WEB	PR TIMES	【豊田市】豊田市博物館開館1周年及び岸田吟香没後120年を記念した企画展「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」を開催します	2025	4/18	PR TIMES
6	WEB	TRAICY	【豊田市】豊田市博物館開館1周年及び岸田吟香没後120年を記念した企画展「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」を開催します	2025	4/18	株式会社トライシージャパン
7	新聞	とよたみよしホームニュース	岸田吟香・劉生父子の企画展開催	2025	4/25	中日新聞豊田みよし販売店会
8	WEB	游墨舎ちゃんねる	岸田吟香没後120年「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」	2025	4/25	游墨舎
9	WEB	Sfumart	岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—	2025	4/25	株式会社ミュージアムマン
10	新聞	中日新聞	中国の美を書や絵に岸田吟香、劉生の挑戦	2025	4/26	中日新聞社
11	WEB	美術手帖	岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—（豊田市博物館）	2025	4/26	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
12	WEB	今見られる全国のおすすめ展覧会	岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—	2025	4/26	有限会社ケイティコム
13	WEB	アイエム [インターネットミュージアム]	岸田吟香と岸田劉生	2025	4/26	株式会社丹青社
14	新聞	中日新聞	見出し：岸田吟香と岸田劉生	2025	4/30	中日新聞社
15	フリペ	ぶらりん豊田	今月のお出掛け情報 企画展「岸田吟香と岸田劉生」	2025	4/30	株式会社ネット・フレンズ
16	新聞	新三河タイムズ	「書の革新」傑人・吟香にあり	2025	5/2	新三河タイムズ社
17	新聞	矢作新報	岸田吟香と岸田劉生	2025	5/2	矢作新報社
18	テレビ	東海テレビ	FNN Live News days	2025	5/2	東海テレビ
19	テレビ	ひまわりネットワーク	とよたNOW ニュース	2025	5/2	ひまわりネットワーク
20	WEB	豊田経済新聞	豊田市博物館で企画展 拳母藩ゆかりの儒官・岸田吟香と息子・劉生を題材に	2025	5/7	豊田経済新聞
21	新聞	中日新聞	岸田吟香「隸書 濟世為懐額」	2025	5/8	中日新聞社
22	新聞	中日新聞	岸田劉生「童女図（麗子立像）」	2025	5/9	中日新聞社
23	新聞	中日新聞	岸田劉生「麗子像」変遷たどる	2025	5/9	中日新聞社
24	新聞	中日新聞	見出し：岸田吟香と岸田劉生	2025	5/15	中日新聞社
25	新聞	新三河タイムズ	豊邨さん、学芸員対談	2025	5/16	新三河タイムズ社
26	新聞	しんぶん赤旗	父子で受け継ぐ東洋熱（展評）	2025	5/16	日本共産党中央委員会
27	新聞	矢作新報	書の美演に釘づけ	2025	5/23	矢作新報社
28	新聞	中日新聞	見出し：岸田吟香と岸田劉生	2025	6/5	中日新聞社
29	雑誌	美術の窓 2025年12月号	特別座談会 2025年の展覧会を振り返る！（展評）	2025	11/20	生活の友社

広報実績：新聞掲載（広告含む）＜13＞、WEB掲載＜12＞、テレビ＜2＞、
雑誌掲載＜1＞、フリーペーパー＜1＞、駅広告＜地下鉄・名鉄・愛環＞、

(参考) ポスター・チラシ送付先

全国の博物館等	188 件 (書道系美術館、美術ギャラリー、書道系大学等を含む)
市内公共施設	252 件 (市内小中学校・交流館・支所含む)
その他	98 件

■アンケート

調査日：4月26日(土)～6月15日(日)

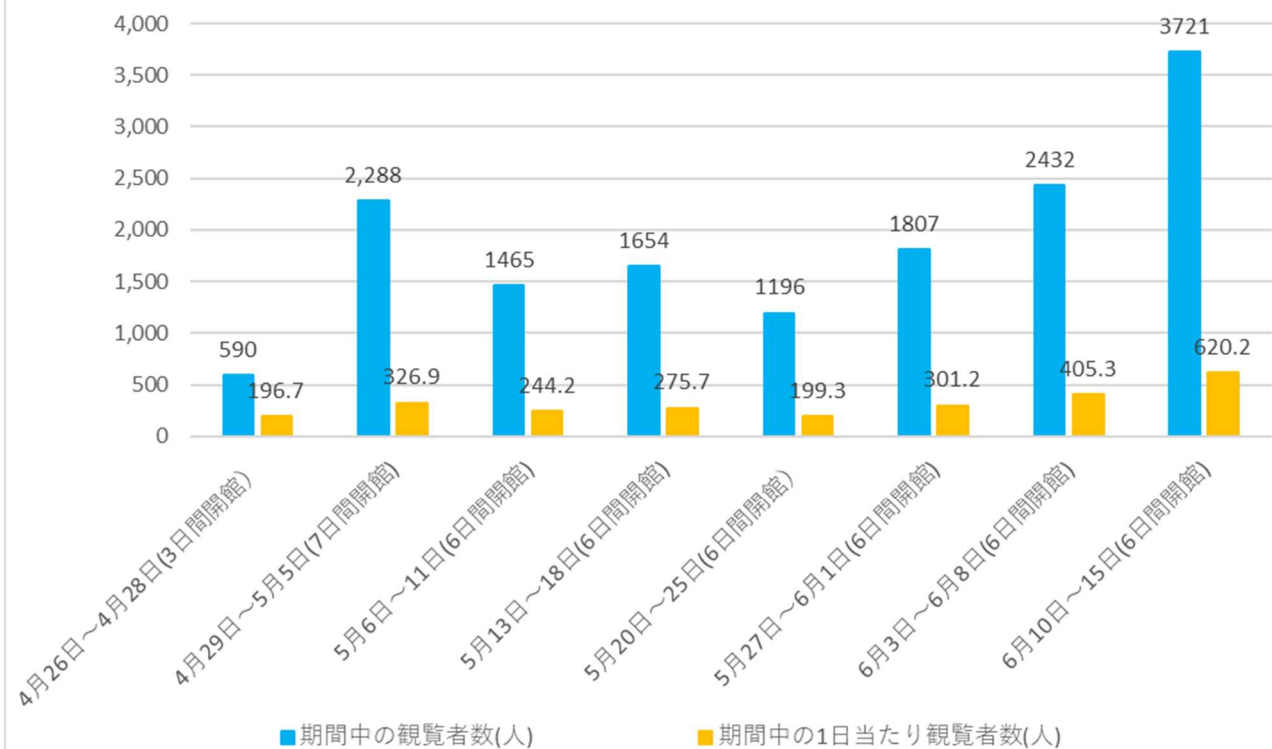
調査方法：展示室1前に紙アンケート記載機を設置し、自由記入

集計枚数：118枚

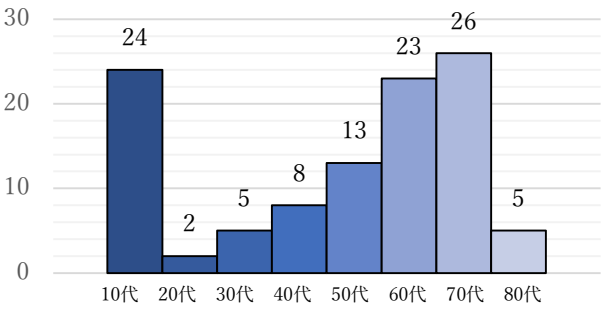
【アンケート結果より】

- ・来館者の年齢層は、10代～40代が37%、50代～80代が63%であった。学校単位で来館する博物館学習の影響により、10代が全体の23%。20～40代の割合が低位で、自主企画展において、この年代への来館アプローチが引き続き課題。
- ・豊田市内からの来館者が58%。豊田市を除く県内からの来館者が34%。県外からの来館者は8%で、HPやSNS、チラシを見ての来館が多かった。今後、県外のポスター・チラシについて、展覧会の内容に則した効果的な送付先を検討したい。
- ・展覧会の満足度は、5(良)→1(悪い)の評価順で「4」及び「5」が87%。平均値均値は4.35。多くの方に高評価をいただいた。一方、「1」～「3」の低い評価が13%あり、今後自主企画展を行う上で、展示手法等、検討すべき有益な意見もいただいた。

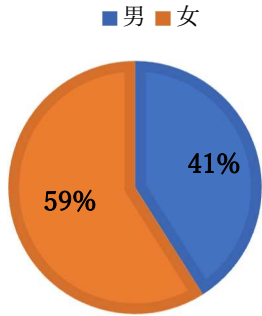
観覧者の推移 (会期：46日間〈内覧会除く〉)



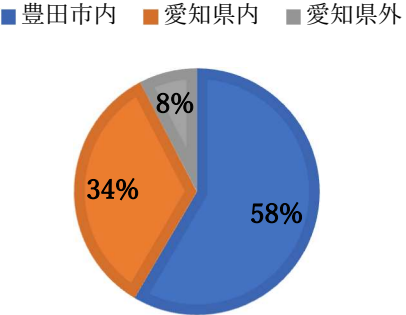
回答者の年齢構成



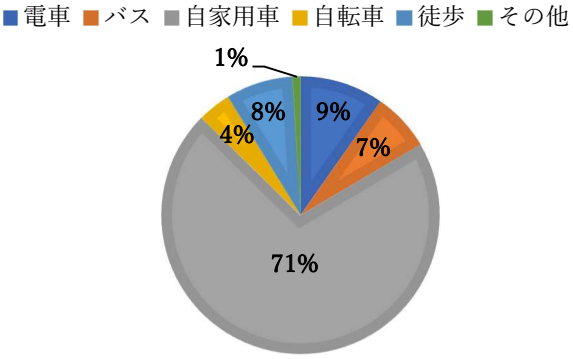
性別



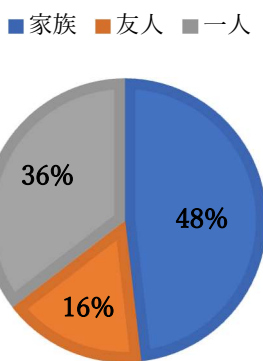
居住地



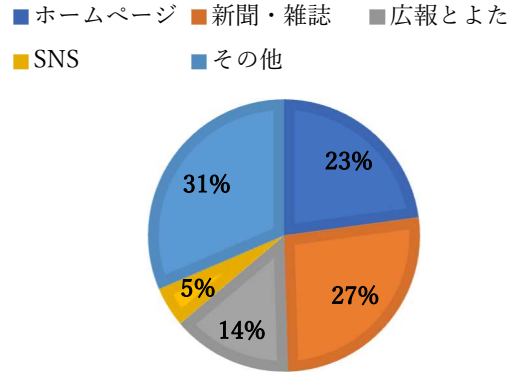
交通手段

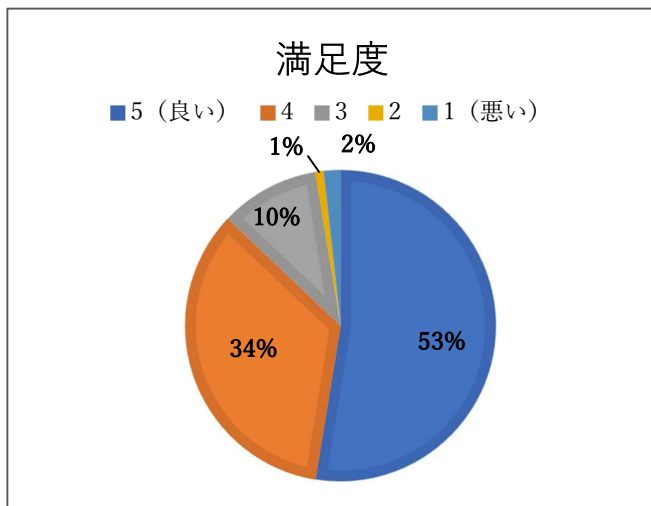


どなたとお越しになりましたか



どのように知りましたか





■ 成果指標

※評価（達成率）…S（目標値の110%以上）、A（標準、90%~110%）、B（70%~90%）、C（70%未満）

	項目	目標	実績	評価 達成率	分析
1	観覧者数	20,000 人	15,153 人	B 75.7%	開館 1 周年記念として、初の美術関係の展示を行った。結果として、目標の約 8 割となる 15,153 人の観覧者数であった。会期終盤の 5 月 31 日からはコレクション展示「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」の効果もあいまって 890 人をを超える日もあった。通期での 1 日当たりの平均値は 329.4 人であった。
2	満足度	5 段階評価における平均値「4.00」	平均値「4.35」	A 108.7%	岸田吟香に関する近代の書作品の名品を厳選して展示しつつ、劉生のマスターピースも展示できた。 詳細な図録とともに、作品の見方を平易に解説する「鑑賞ガイド」を作成し、会場内で配布した。
3	図録購入	500 冊	222 冊	C 44.4%	当初の販売予定数は 500 冊（目標観覧者数 20,000 人に対する購買率は 2.5%を想定）であったが、専門的な内容もあり、観覧者総数に対する購買率は 1.5%にとどまった。